

いい出会い 地域に根ざす 本郷法人会

ほうじん本郷

<https://www.hongohojin.or.jp/>

株式会社 夏目製作所

税務ニュース

No. 523

令和8年7月号

【目次】

Close Up Interview — 2~3

第15回通常総会を開催 — 4~5

税務署だより — 6

都税事務所だより — 7

法人会の活動 — 8

法人会に加入しませんか — 9

〈連載〉新会員紹介 — 10

東法連コラム — 11

事務局だより — 12

人と動物にやさしいものづくりを。 最後の動物実験を見届けるまで、ライフサイエンスの未来を支え続けたい

1946年の創業以来、文京区湯島を拠点に研究機関向けの実験動物飼育機器や研究支援機器の開発・製造・販売を手がけてきた株式会社夏目製作所。2026年5月に創業80周年という大きな節目を迎えた同社を率いる夏目知佳子社長に、これまでの歩みと「人と動物にやさしいものづくり」に込めた信念、そして次の100周年に向けた展望を伺いました。

株式会社夏目製作所 代表取締役社長

なつめ ちかこ
夏目 知佳子 様

プロフィール

1984年文京区生まれ。NZの大学で環境学を学び、2010年に夏目製作所へ入社。先代の逝去に伴い2019年に代表取締役に就任。『会社の成長は社員一人ひとりの成長によって実現する』という考えのもと、理念経営と人材育成を推進している。



——創業80周年。変えてはいけない価値観と、変えるべき仕組み

夏目製作所は、戦後間もない1946年、創業者である祖父・夏目住男が文京区湯島に立ち上げた「夏目住男商店」から始まりました。理化学器材の商人だった祖父は、戦後の混乱の中で独立を余儀なくされたのですが、「既存の同業者の商売敵になってはいけない」と、独自の工夫を重ねて価値あるものを届けることを信条にしていました。

当時、栄養失調が深刻な社会問題となる中、京都大学の先生からのご依頼で試作を重ねた「ビタミンB1定量装置」が、のちにアリチアミン（アリナミンの主成分）の効能証明に使われ、多くの人を救う薬の誕生につながりました。これを機に実験器具の作製に力を入れるようになり、現在は大学や製薬企業、研究機関向けの実験動物飼育機器・研究支援機器の開発・製造・販売に特化しています。

2026年5月に創業80周年を迎えましたが、創薬や医療をはじめとしたライフサイエンスの現場を支え続けてきました。ここまで続けてこられたのは、80年の歴史の中で「変えてはいけない価値観」と「変えるべき仕組み」の両方に、実直に向き合い続けてきたからだと考えています。

——「業界のコンシェルジュ」として。800種を超えるオリジナル製品

私たちの強みは、何よりも「お客様の現場に寄り添う姿勢」です。最先端の研究に取り組まれている研究者の皆様は、抱えている課題も一人ひとり異なります。私たちはそうしたお客様と一緒に課題を考え、形にしていくことを何より大切にしてきました。

実は、私たちはメーカーでありながら自社工場を持たない『ファブレス経営』という形態を貫いており、多くの頼もしい協力企業様に支えられて製品づくりを行っています。この柔軟な体制があるからこそ、世界に一つしかない1点物の特注品開発や、実験内容をお伺いした上でのシステム提案が得意なのです。建屋のレイアウトやフロアプランのご提案、クリーンアップの手配なども行っており、オリジナル製品は今や800種を超え、今年も80周年記念製品として複数の新製品を販売開始することができました。動物実験施設や器具のことなら「まずは夏目製作所に聞いてみよう」と気軽に声をかけていただけるような存在を目指しています。困ったときに真っ先に思い出してもらえる会社でいたい——それが私たちの一番シンプルな願いです。

ストーリー 夏目製作所の鯉 人と街をつなぐ存在として

湯島夏目ビル前の玄関脇には、4尾の錦鯉が静かに泳ぐ水槽があります。夏目製作所の名前をご存じない方でも、「あの鯉のいる会社」と言えば通じるほど、地域に親しまれている存在です。

交差点で信号待ちをする人が、ふと足を止めて水槽を眺める。お子様連れの方が、子どもに「ほら、きれいだね」と声をかける。そんな何気ない風景が、日常の中に小さなやすらぎを生み出しています。

美しい錦鯉が盗まれてしまうこともある時代にあって、この鯉たちが変わらずここにいるのは、多くの人の目と気持ちに守られているからかもしれません。この小さな水槽は、会社と地域とを静かにつなぐ、大切な存在となっています。



本郷の本社ビル前にある池の鯉。地域の方々にも親しまれている夏目製作所のシンボルです。



社員の働きやすい環境を整える一環で、社内での懇親会も頻繁に行っています。

——命と向き合う。「人と動物にやさしいものづくり」への信念

動物実験は、日常生活からは遠いように聞こえるかもしれませんが、また、時に「かわいそう」「縮小していくべきもの」と捉えられることもあるでしょう。でも、ふだん風邪をひいたときに飲む薬も、コロナ禍で接種したワクチンも、その安全性を確かめる過程には必ず動物実験があります。私たちはその現場を、器材という形で支えている会社です。直接目に見える仕事ではありませんが、実はとても身近なところに結びついている——そのことを、もっと多くの方に知っていただけたらと思っています。

研究者の皆様が実験しやすい環境を整え、動物福祉に配慮した機器を提供することで、人にも動物にもやさしい、より精度の高い実験を可能にする。これが、私たちの掲げる「人と動物にやさしいものづくり」という理念です。

動物実験における国際的な動物福祉の原則である「3Rs」——代替法の活用 (Replacement)、使用匹数の抑制 (Reduction)、苦痛の軽減 (Refinement)——を常に意識しながら、私たちは単なる「器材屋」ではなく、器材・情報・ノウハウ・人とのつながりも含めて価値を提供する「研究のパートナー」でありたいと考えています。使いやすさや清掃のしやすさといった「やすさ」の追求に加え、3Rsに独自の視点である4つ目のR「Relationship (関係性)」を大切にしながら活動しています。研究者の皆様だけでなく、製品を作ってくださっている協力企業の皆様、動物、業界活動、社員やその家族、そして地域社会とも関係性を紡ぎながら、社会の一員として、自社の活動だけではなく様々な場での活動などにも積極的に貢献していきたいと考えています。

——若手の挑戦を後押しする、人財育成への想い

本年は創業80周年を機に、全社参加型のプロジェクトを立ち上げました。【どのプロジェクトに入りたいか】「リーダーをやりたいか」というアンケートをとったところ、嬉しいことに多くの20～30代の若手社員が自ら手を挙げてくれたのです。私が大切にしているのは、単に『若手』に任せることではなく、経験年数や年齢にかかわらず、一人ひとりが『私の仕事』として主体的に考え、行動できる環境をつくることです。挑戦したい人にはチャンス、迷っている人には対話の機会を——そうした一人ひとりの成長の積み重ねが、会社の成長につながると信じています。

社員が自分らしく成長し、『私の仕事はこんなに

世の中に役立っているんだ』と胸を張れること。その誇りを育むために、この5年ほど「インナーブランディング活動」として、安心して働ける環境づくりや挑戦を後押しする仕組み、発表や業界活動への機会などを地道に積み重ねてきました。

——最後の動物実験を見届ける、その日まで。

いつか科学や医学がさらに発展し、動物実験に頼らない手法が確立される日が来るかもしれません。私自身、そうした未来を心から願っています。けれど、その日を迎えるまでは、夏目製作所は適切な実験環境を支え続けたいと考えています。

社員一人ひとりの成長が会社の成長につながり、その確かな歩みの積み重ねこそが、次の大きな節目である100周年へとつながっていくと私は信じています。今後は この業界で得た知見やものづくりの経験を活かし、研究現場に寄り添いながら、より広くサイエンスや 動物福祉、さらには教育支援にも積極的に取り組んでいく考えです。専門性の高い業界だからこそ、異なる業種や分野の皆様とも接点を持てる場を大切に、情報や技術を積極的に交換していくことで橋渡しができる存在となれたらうれしいです。

——仕事も趣味も、全力で楽しむ

普段は経営の第一線にいますが、オフの時間も全力で楽しむようにしています。スキューバダイビングや、長年続けているガールスカウト活動など、アウトドアでアクティブに過ごすことも楽しみの一つです。仕事の中では出会えないような体験や人とのつながりが、経営者として、人としての視野を広げてくれていると感じています。

平日は帰りが遅いことも多いですが、日々の仕事も、家族との時間も、業界の皆様との交流も、すべてが私にとっての大切な「生きがい」です。

仕事と私生活をトレードオフにするのではなく、「どちらも全力で楽しむ」という意気込みで、完璧を求めず、今日のベストを目指して毎日を駆け抜けています。本郷という地域で育てていただき、これからも根を張っていく会社として、法人会の皆様にもぜひ気軽にお声がけいただければ嬉しいです。

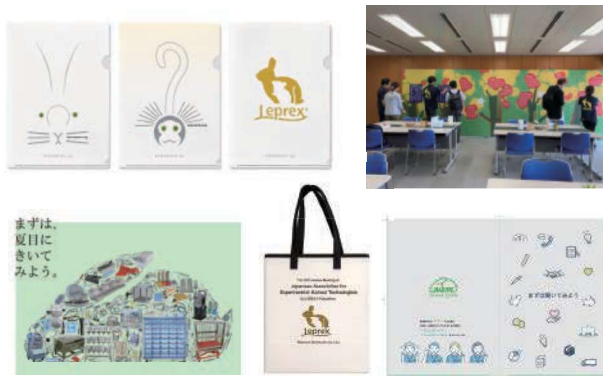
株式会社夏目製作所

〒113-8551 東京都文京区湯島2丁目18-6

TEL. 03-3813-3251



社員同士の交流や新しい挑戦が生まれる共創空間「3Rs Lounge」を本社ビル8階にオープンしました。



インナーブランディング活動に加え、「伝わること」にこだわりデザインへの取組も積極的に行っています。